



赤い羽根
福祉基金

高校生のがんや入院、
長期療養のこと
知ってみませんか？

四国会場 *In* 香川

病気療養中の高校生を応援する 支え合い井戸端セミナー

あなたにも
できることが
きっとある

子どもと大人の狭間で、支援の隙間にいる病気療養中の高校生がいることを知っていますか？

まずは知ってもらうこと。そこから支援は始まります。

今、病気と闘っている高校生はもちろん、あなたの近くにいるあの子が、今後、もしかしたら支援を必要とするかもしれません。そんな、高校生への支援を考えるセミナーです。



開催日時
2026 **2/15** Sunday
セミナー時間
13:00~15:00
11:30~16:00

会場 高松商工会議所 大ホール YouTube 配信あり
(〒760-8515 香川県高松市番町2丁目2番2号)

参加
無料!!

→ 申込はこちら →

現地



先着: 150 名

※満席時は立見にて当日参加可

オンライン (YouTube)



制限無し

※会場内で飲食店・展示・紹介コーナーのイベントも同時開催



13:00~ 第1部

まずは知ろう

清野莉恵

当事者による体験紹介

治療の先にあるはずの未来が
治療によって閉ざされないために

2

都留文科大学：佐藤比呂二

院内学級の先生による事例紹介

出会いはタカラモノ
- 子どもから教えられたことばかり -

4

未来 ISSEY：吉田 ゆかり

友だち・学び・希望

— 高校生の今を支える大切なこと —

7

未来 ISSEY：栗原久美

保護者の体験紹介

高校生が“頼れる相手”を見つけるとき
- 親の視点から、心がひらく瞬間 -

3

質疑応答

14:00~ 第2部

香川の取り組み

香川大学医学部附属病院小児科 福家典子

医療者の取り組み

香川大学における
入院中の高校生の学習支援の現状

2

グッドブラザー 青山治樹・木幡ゆい

支える人になる前に、 隣にいる人である

— 学生ボランティアとしてできること —

4

元県立高等学校校長：泉谷俊郎

教育関係者による事例紹介

学びたい人が学び続けるということ

7

香川県美容業生活衛生同業組合 美容師 泉保千好江

支援者の取り組み

高校生の学びとアピアランスケア
- 香川県のがん支援から考える
「外見と心」のサポート -

3

質疑応答

◆ 飲食・展示・紹介コーナー ◆

11:30~16:00



ファッション・エール
(ポップアップ店)



レモネードスタンド



グッドブラザー



WonderMeta美術館

● ファッションエール (ポップアップ店)

病気を抱える方やご家族、そしてすべての人へ。
服だけでなく、小物やネイル、お守りアートメイクなど。そんなちょっとしたものを身にまとうことで心が動く、ファッションの力で前を向くエールを届けます。

● レモネードスタンド & スイーツ (小児がん支援募金)

丸亀ロータリークラブ様による出店。
レモネードを通じて、支援の輪を広げる参加型の小児がん支援プロジェクトです。

● 未来 ISSEY「グッドブラザー事業」展示

(大学生・高校生グッドブラザーが案内します)
高校生・大学生・大人がチームとなり、病気を抱えるお子さまを支える力を届ける未来 ISSEYの応援事業。「誰かのために動く」そのさまざまな活動を紹介します。

● WonderMeta 美術館

病気を抱えるお子さまが、自分の気持ちや世界を絵に込めた作品展。
「子どもたちの心の声を見つめ、受け止める」特別な展示です。

「病気で悩む高校生へ—支えたい仲間が、ここにいる」

応援団長メッセージ 認定NPO法人わははネット 理事長 中橋恵美子



孤立する子育てで家庭に寄り添い、親も子どもも「自分の居場所」と思える場をつくりたい。その思いで約30年活動してきました。一方で、病気を抱える子どもや成長した中高生と関わる機会は限られていました。今回を機に現実を知り、地域の一人としてできることを一緒に考えていきたいと思っています。一緒に考えましょう！

応援団長メッセージ 香川県高等学校PTA 連合会会長 杉本勝利



私自身4人の子育てを経験し、社会全体で子どもを見守る大切さを感じつつ、25年にわたりPTA活動に携わってきました。多様な家庭環境の中で、孤独を抱えながら子育てをしているご家庭も少なくありません。今回のイベントを通じ、社会全体で孤立させない仕組みが広がることを期待しています。子どもたちの笑顔のために、共に考えていきましょう。

主催者メッセージ NPO法人 未来 ISSEY 代表理事 吉田ゆかり



私の息子は、小学生のときに横紋筋肉腫という小児がんを経験しました。その経験を通して、学ぶことを続けられなかった高校生たちにも出会いました。「学びたい」という思いは、治療後の自分の未来を信じているからこそ生まれます。知っていれば守れること、行動できることがたくさんあります。どうか、応援をよろしくお願いいたします。